

「風土会」の軌跡

回	学びのテーマ	年・月・日	参加人数
1	学習会の意義	H.19年度11/2	35
2	「風土づくり」の意義と理論	12/7	36 (71)
3	「多様性トライアングル」の意義と理論	2/1	39 (110)
4	1学期の理論・ビジョン・実践	3/7	38 (148)
5	授業とエンカウターの融合	H.20年度4/25	28 (176)
6	エンカウター授業での悩み	5/23	38 (214)
7	班の活用の意義	6/20	36 (250)
8	教師の心構えと技術①	9/26	27 (277)
9	教師の心構えと技術②	11/7	37 (314)
10	グループワークトレーニング（GWT）について	1/23	46 (360)
11	GWTの基礎理論	2/27	30 (390)
12	学級づくりの考え方（戦略）と進め方（戦術）	H.21年度4/17	27 (417)
13	生徒指導と教科指導と学級づくり	5/22	42 (459)
14	学級の荒れを防ぐポイント	6/26	50 (509)
15	GWTの背景にあるもの	9/25	34 (543)
16	ルールとマナーの教育	10/23	28 (571)
17	より深い自己価値感を得られるには	12/4	31 (602)
18	人間関係プログラムの実践	1/29	20 (622)
19	アサーティブについて	2/26	20 (642)
20	1学期の学級づくり	H.22年度4/30	48 (690)
21	教師のソーシャルスキル	5/21	23 (713)
22	教師の勢力資源	7/2	27 (740)
23	学習規律とは	8/20	15 (755)
24	学級集団に対応する（最近の傾向から）	10/14	25 (780)
25	構成的グループエンカウターの授業（SGE）	11/19	15 (795)
26	校内研修の基盤となる職場風土づくり	1/14	17 (812)
27	つながり学習	2/18	16 (828)
28	学級経営における「つまずき」の予兆とその克服	H.23年度4/8	40 (868)
29	人間関係向上プログラムの効果的な利用	5/6	32 (900)
30	なれあい型学級の傾向と対策	6/10	34 (934)
31	協調的な想像力～コミュニケーション力とその指導～	7/6	16 (950)
32	不登校は学校魅力で減らす	9/9	45 (995)
33	教科指導と生徒指導は表裏一体 ～これからの授業づくりの発想～	10/14	26 (1021)
34	heper-QUの実践と理論	11/11	26 (1047)
35	生徒指導と学校文化	1/27	23 (1070)

回	学びのテーマ	年・月・日	参加人数
36	学校風土づくりの具体的なプロセス	2/24	18 (1088)
37	予防・開発的生徒指導	H.24年度4/13	38 (1126)
38	ルールとリレーションの確立と方策	5/18	67 (1193)
39	いじめの予防と人間関係づくり	6/15	50 (1243)
40	仲間づくりを促進させるコンセンサス実習の実際	9/7	35 (1278)
41	強制性を教育的に活用するためには	10/5	28 (1306)
42	モラルジレンマ授業の実際	11/16	45 (1351)
43	教師と生徒の二者関係	1/25	44 (1395)
44	同僚性を育む学年経営	2/22	32 (1427)
45	Q-U事例検討会（アセスメント・対応策）について	H.25年度5/17	33 (1460)
46	満足型学級（Q-U）にするための実践的活動	6/14	27 (1487)
48	2学期初めの学級づくり	9/6	50 (1537)
49	つながり学習のトータルデザイン	11/8	22 (1559)
50	アサーションTR	1/17	27 (1586)
51	生徒指導総合講座のまとめと来年度のビジョンづくり	2/21	19 (1605)
52	年度初めの学級づくり	H.26年度5/2	26 (1631)
53	6月に再契約をする実践	6/6	42 (1673)
54	特設人権学習授業での実践	9/19	33 (1706)
55	感情に働きかけて行動を変える ～児童生徒が自主的に活動するために～	10/19	23 (1729)
56	「べき」のすり合わせで一体感をつくる	11/21	19 (1748)
57	アクティブ・ラーニング授業	1/16	23 (1771)
58	アクティブ・ラーニング型授業のすすめ	2/27	24 (1795)
59	文武両道を体現する生徒が数多く活躍する学校を目指して	H.27年度5/15	23 (1818)
60	人権教育の視点に立った授業づくり	6/26	13 (1831)
61	キャリア教育の充実と学力向上	9/25	26 (1857)
62	振り返り活動を通して行動の質を高める	10/30	26 (1883)
63	地域や保護者に対しての講演会	11/20	18 (1901)
64	若い先生に愛情を注ぐための研修	1/15	22 (1923)
65	ALの3本柱を意識した授業改善とその波及効果について	H.28年度6/3	25 (1948)
66	今、なぜ道徳教育なのか	9/23	16 (1964)
67	いじめの許容空間をつくらない	11/11	28 (1992)
68	「価値あるメッセージの送り手」を育てるクラスづくり	H.29 1/27	25 (2017)
のべ参加人数		平成19年 11月2日～平成29年 1月	2017人

